

事業番号 0138

(事業名) 災害対策の総合推進調整に必要な経費

(担当部局) 政策統括官(防災担当)

- 公開プロセスでの評価結果 -

<評価結果> 事業全体の抜本的改善 4、事業内容の改善 2

<取りまとめコメント>

予算の執行状況が適切であるということが必ずしも明確でないのではないか。  
(廃止すべきとする意見 2 名あった。)

<外部有識者の評価>

イ 事業全体の抜本的改善	4 名
ロ 事業内容の改善	2 名
ハ 現状通り	0 名

<外部有識者のコメント>

- ・省庁横断的防災対策という要素と予算スケジュールに重ならない突発的防災対策に対する各省庁共通財源という要素が混在しているように思う。  
前者は一定の予算額を見込むことが可能であり、事業を 2 区分することで不用額(原則突発対応から発生)の合理的説明も可能になる。
- ・予算があるから事業を考える…になっていないか。
- ・出張旅費が多い中で、この出張がどれほど意味があるのか、その説明責任を果たすべき
- ・行政事業レビューを予算に反映させる好事例だと思う。
- ・このプログラム(施策)の意味・機能は何か。この点を国民にどのように説明するのか。予算を減らされた場合に予想されるマイナスのインパクトなど説明上の工夫については、検討の余地はないか。
- ・制度の仕組みについての説明上(個別事業内容ではなく)の工夫が必要ではないか。
- ・廃止すべき  
事業執行の実態を見ても緊急性、省庁横断性も十分見られない。  
必要であれば、補正予算、予備費にて対応すべき。

- ・ 予算の執行において緊急性、省庁横断性を判断する仕組みが確保されない限り廃止。
- ・ 他省庁の調査費等、予備費、補正予算で十分対応であり、他省庁から見て便利なサイフとして使われてしまう可能性がある。事業内容も他省庁及び同じ内閣府の他事業と同じものがあるにも係わらず、重複排除欄に記入されていない。内閣府として実施すべき事業としての必要性が乏しい。抜本的改善が必要である。